平成31年度　都立学校・学校経営シート

校章	都立橘高等学校	全日制課程
	21世紀の産業界で活躍する人材の育成 進学にも就職にも対応した進路指導	

基本情報					
所在地	〒 131-0043 墨田区立花四丁目29番7号			電話番号	03-3617-8311
アクセス	(1) 東武亀戸線東吾妻駅下車徒歩3分 (2) JR総武線平井駅下車徒歩12分 (3)				
学科	産業科				
在籍生徒数	577名（男子227名、女子350名）				
教育課程の特徴	ものつくりから流通販売までを総合的かつ実践的に学ぶ。				
ホームページ	https://www.metro.ed.jp/tachibana-h/			自律経営推進予算 31年度（単位：万円）	3,080
その他	墨田区産業観光部との連携 千葉商科大学との高大連携	校服	制服	男子：ブレザー 女子：ブレザー	

基本情報											
進路	実績	四年制大学	19%	短期大学	1%	専門学校	39%	就職	35%	その他	6%
	特徴	生徒の多様なニーズを踏まえ、進学にも就職にも対応した進路指導									
主な部活動		硬式野球部、サッカー部、男女バスケットボール部、バドミントン部、卓球部、ダンス部、吹奏楽部、演劇部、エンターテイメント部、百人一首部等。部活動加入									
学校評価		生徒肯定的評価75%、保護者肯定的評価76%、地域住民肯定的評価14%（わからない63%）									

入学者選抜情報													
募集人員	210名　（推薦：男女63名　　学力：男女147名）												
応募倍率	29年度入学生	推薦	男子		30年度入学生	推薦	男子		31年度入学生	推薦	男子		
			女子				女子				女子		
				2.54				2.22				1.89	
		学力検査	男子			学力検査	男子			学力検査	男子		
			女子				女子				女子		
				1.41				1.03				1.13	
その他の特徴	文化スポーツ推薦（吹奏楽：2名）（いずれも男女問わず）												

主な学校行事	修学旅行（2学年）、橘祭（文化祭）、体育祭、レシテーションコンテスト
目指す学校	(1)社会の変化に適応して自ら成長し続け、自立して生き抜く人を育てる。(2)地域や社会で産業人として活躍できる人を育てる。(3)人に感謝し、感謝される人を育てる。(4)規範意識と社会性を身につけた人を育てる。(5)高き理想（志）を掲げ、その夢の実現のために積極的に挑戦する人を育てる。

	今年度の重点目標	今年度の取組と自己評価
目標①	**学習指導の充実** **①教員授業参観（校内、他校）による指導方法の工夫・改善**　授業参観一人４回以上　**②学習時間の確保**　学習時間調査を年２回実施、１日平均の目標学習時間１・２年生１時間以上、３年生１.５時間以上　**③1・2年生の進級及び3年生の卒業率の向上**　進級率９５％以上、卒業率　１００％	①教員相互による授業参観では、一人4回以上実施した割合は約30%弱に留まり、教員によって参観回数に差があったが、授業力向上への改善につながる効果があった。特にICT機器を活用した授業では、それぞれに工夫が見られ参観者の授業の参考となった。来年度は他教科への授業参観の機会を充実させる。②学習時間調査では、各学年別に大きな差が見られず、全体の平均値が18分と目標時間とはかなり隔たりがあった。家庭学習の習慣を身に付けさせるため、日頃から宿題などに取組ませる体制を強化していく。 ③進級率は1年93．4%、2年　91．0%、卒業率　98．9%であり、特に2年生は2学期以降から生活習慣の問題や学習意欲の低下など成績不振などにより進路変更が目に付いた。
目標②	**生活指導の充実** **①全教員の統一的指導による授業規律の徹底**　チャイムスタート、始業・終業の起立・礼、始業時身だしなみ指導、携帯電話・ゲーム機の使用禁止、私語厳禁、飲み物等不要物の机上禁止、教室環境の整備、**②遅刻指導の徹底、より効果的な方策の検討、「時を守る」習慣の定着**　一日の全校遅刻４０名以下	①チャイム着席・スタート、始業・終業の起立・礼については、多くの授業で概ね達成出来ているが、携帯電話等の使用禁止については、生徒に違反があった場合、教員によって指導方法が異なっていたこともあり、統一的な指導として携帯電話等を預かる指導を徹底して実施する。②今年度の一日の全校遅刻者数平均は69名であり、昨年度61名と比較すると、1年生を除き増加となった。遅刻者については、特定の生徒に見られる傾向であることから、いかにして粘り強く指導を継続していくかの体制を強化していく必要がある。学年によっては遅刻防止期間を設定するなど指導しているが、際立った改善には至っていないこともあり、家庭との連携を強化して遅刻防止に取り組む。
目標③	**募集・広報活動の充実** **①入学者選抜の応募倍率向上　推薦2．0倍以上、一般1．2倍以上** 学校説明会４回・体験授業２回、生徒による募集・広報活動、説明会プレゼンの工夫、中学校と塾への精力的訪問、学校案内パンフレットやホームページの内容の刷新　**②学校説明会等の参加者2300名以上、文化祭来校者1800名以上**	①学校説明会は、天候等の事情により4回実施予定のうち1回目が中止となったが、参加者数は昨年度より増加した。また、生徒会や卒業生によるプレゼンテーションや部活動の参加などの工夫により好評であった。夏季休業中に体験授業・体験部活動を2回実施し182名が参加した。入学者選抜の応募倍率は、推薦1．87倍、一般1．07倍と、目標数値には届かなかった。ホームページについては、リニューアルしたことで、中学生や本校の保護者へ情報発信を充実させるため積極的に更新回数は増やしていく。②学校説明会等の参加者は2，108名で、昨年度2，024名と比較し増加した。また、文化祭来校者は1，233名で、昨年度1，939名と比較し大幅に減少したため、開催曜日を土日の2日間実施にすることとした。

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	一日の全校遅刻者数【人】	35	54	40	47.3	30	61	40	69	30	30	30
目標②	部活動加入率【%】	75	71	75	75.7	75	53	75	61	75	75	75
目標③	入学者選抜応募倍率（一次募集）【倍】	1.50	1.41	1.50	1.03	1.20	1.13	1.20	1.07	1.20	1.20	1.20